

取扱説明書

このたびは当社照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み充分理解して、正しくお使いください。
この取扱説明書は他の商品と共通になっているため、商品と姿図が違う場合があります。

工事店様へ…この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

LEDシーリングファン HFA2001C プルレス・リモコン付

● ご注意とおねがい

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するため、お守りいただくことを説明しています。



警告

■施工には電気工事士の資格が必要です。

必ず工事店・電気店に依頼してください。
また、部品の追加、変更
などの器具の改造は絶対にしないで
ください。器具のすきまに金属類（
針金など）を絶対に差し込まないで
ください。感電の危険があります。



警告

■木ネジ取付けの場合、取付け面の強度を十分
確認し、あらかじめ補強するか、補強材の
あるところに取付けてください。
(落下して、けがの原因となります。)



警告

■定格電圧 日本国内交流100V専用です。
海外では使用できません。
過熱し、火災の原因となります。



注意

■点灯中および消灯直後は器具が熱いので手や肌など
を触れないでください。器具を触るとやけどの原因
になることがあります。



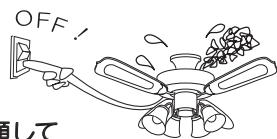
注意

■この器具は屋内専用です。
5°C~35°Cの範囲内で使用する
ようにしてください。



注意

■器具から煙がでたり、変な臭いがしたときは、
すぐに電源を切り、
異常状態がおさまった
ことを確認してから、
工事店・電気店に修理を依頼して
ください。



注意

■器具の取付けは、本体表示並びに
取扱説明書にしたがい確実に行っ
てください。



取付けに不備があると器具落下、感電、
火災の原因となります。



注意

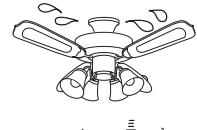
■転居や清掃のため、本体を外し、再度取り付ける
場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けて
ください。

不完全に取り付けると、落下してけが・物損の原
因になることがあります。

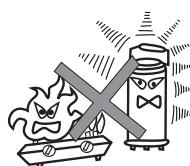
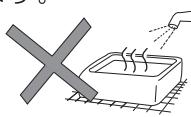


■このような場所では使用しないでください。

●ストーブなど、温度の高くなるものの
真上やその付近。

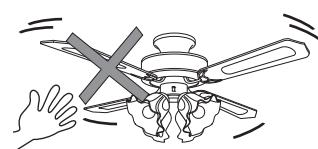


●台所・風呂場など水や
湿気の多い場所。
火災や感電の原因にな
ります。



■羽根が回っている時は

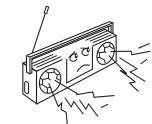
絶対に手で触れたり
棒などを差し込んだり
しないでください。
大きなかがの原因と
なったり、器具の破損につながります。



■羽根の回転回転方向を変えるときは
完全に回転が止まってから切り替えて
ください。モーターの故障原因
となります。



■器具の近くでは、ラジオや
テレビに雑音が入ったり、
他の家電品の赤外線リモコンが
作動しない場合があります。
このような場合はラジオやテレビ、
他の家電品を器具から離してお使いください。



■安全上、LED光源を直視しないでください。



■LED光源は器具組込みの為、交換できません。



■LED光源にはバラツキがあるため、商品ごとに
発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。



■壁付調光器のある回路では使用できません。
照明器具が故障します。

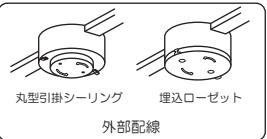
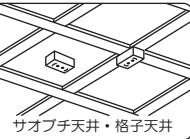
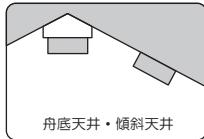
※天井の材質や構造によって、天井が変色する可能性があります。

●取付け前のご注意

⚠ 警告 しろうと工事は危険です。電源の工事は電気工事店におまかせください。

●こんな天井にはとりつけできません

- 器具が天井面に密着しない天井。(器具がグラついて危険です。)



- 簡単にたわむ弱い天井。



●このままでは使えない配線器具

(電気店に依頼して新しい配線器具と交換してください。)



露出タイプ



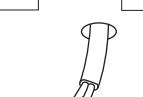
破損している
もの



シーリングハンガ
付きのもの



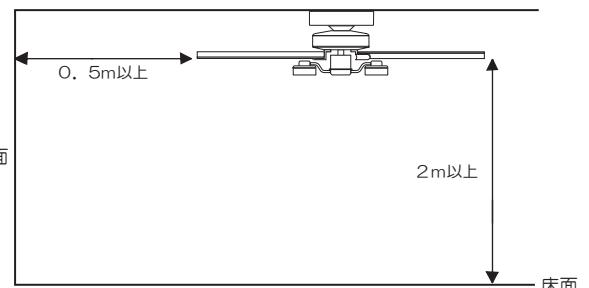
ぐらぐらしている
もの



配線だけの
もの

電線工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

- 壁面から羽根の先端まで(0.5m以上)離してください。
風の影響で器具が振動する恐れがあります。
- カーテン等がある場合は(0.85m以上)離してください。
- 床面から羽根まで(2m以上)離してください。



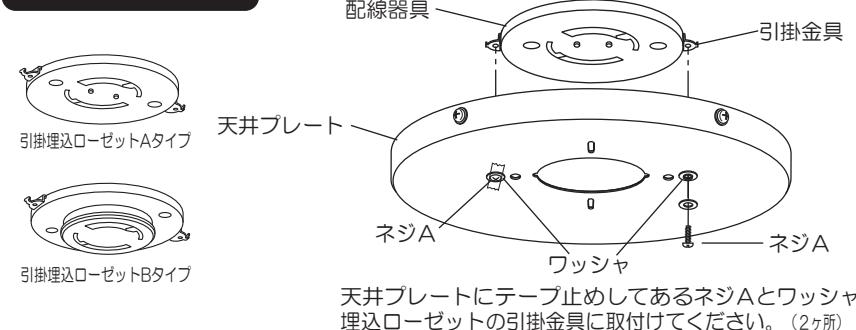
●器具の取付けかた

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。

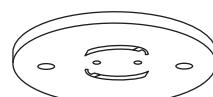
⚠ 注意 この器具は天井取付専用です。天井以外には取付けないでください。

① 天井プレートを取付ける(配線器具により2通りあります。)

ローゼットの場合



ローゼットに引掛金具がない場合

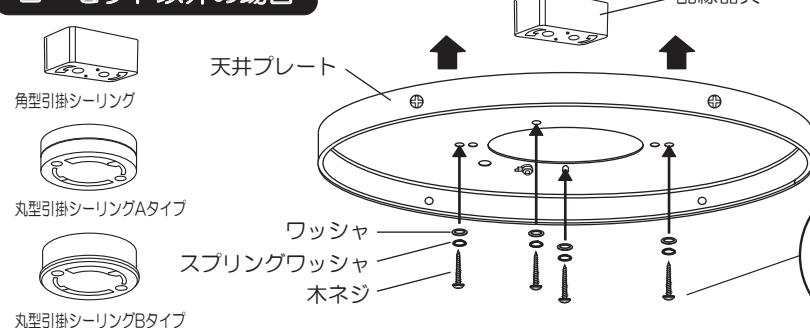


ローゼットに引掛金具がない場合は電気工事店にご相談ください。

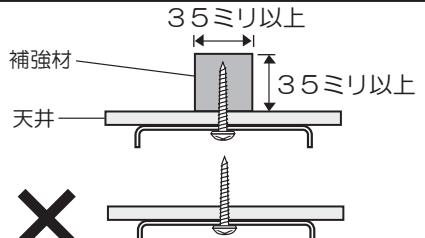


木ネジ取付け時の強度は、天井側の強度に依存します。あらかじめ補強するか、補強材のあるところに取付けてください。
(落下して、けがの原因となります。)

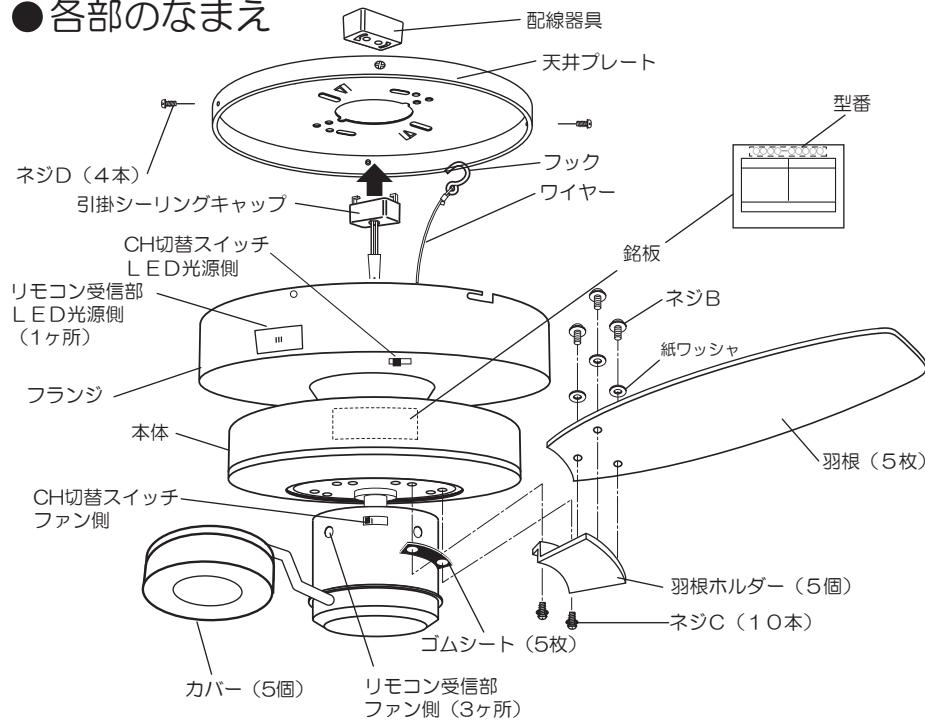
ローゼット以外の場合



木ネジは必ず補強材のある箇所に確実にとめてください。



●各部のなまえ

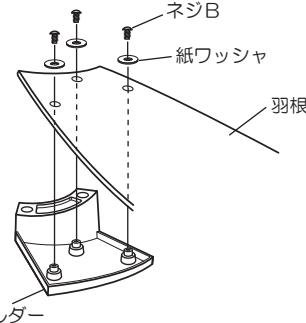


付属部品

リモコン送信機セット	
	リモコンホルダー (木ネジ2本付)
送信機	単3形乾電池 (2本)
天井プレート取付用	
木ネジ (4本)	ネジB (16本) (うち、予備 1本)
スプリングワッシャ (4枚)	紙ワッシャ (16枚) (うち、予備 1枚)
羽根取付用	
	ゴムシート (5枚)

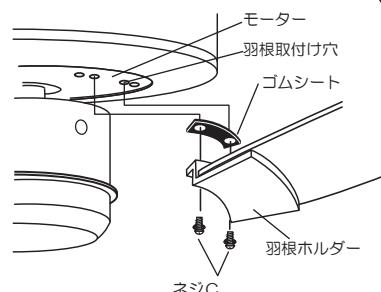
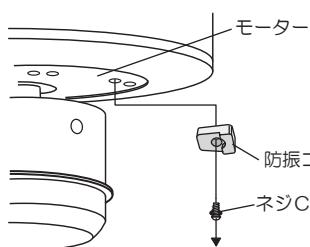
② 羽根を取付ける

注意
固定用ネジはしっかりと締付けてください。
落下の原因となります。



1. 付属のネジBで羽根と羽根ホルダーを固定してください。

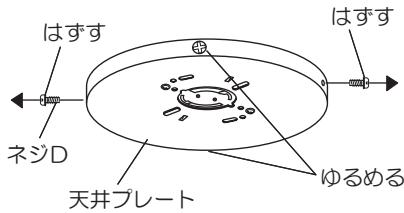
2. モーターに付いている防振ゴムとネジCを取りはずしてください。
※防振ゴムは輸送時にモーターを固定するためのものです。取りはずした後は使いません。



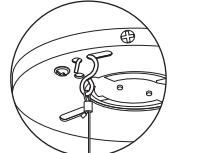
3. ゴムシートをモーターにある羽根の取付け穴に合わせて貼りつけます。
(ゴムシートは、両面テープが付いています。)
次にネジCで羽根ホルダーをモーターに固定してください。

③ 配線器具に接続する

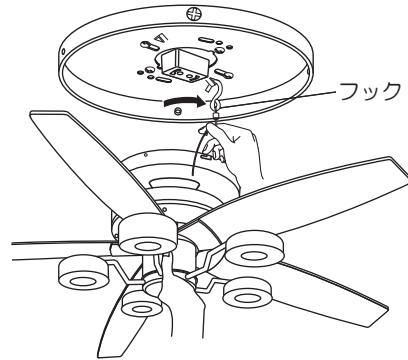
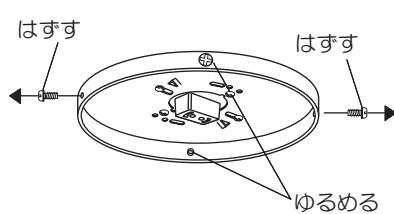
(図は、「引掛埋込ローゼットA」と、「角形引掛けシーリング」ですが、他の配線器具の場合も、同様に行って下さい。)



ローゼットの場合
○□穴にかける

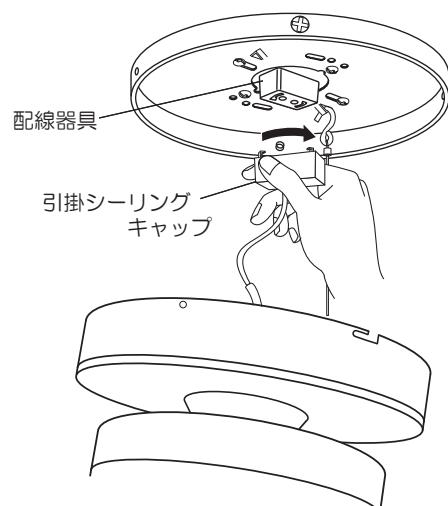


ローゼット以外の場合
△穴にかける



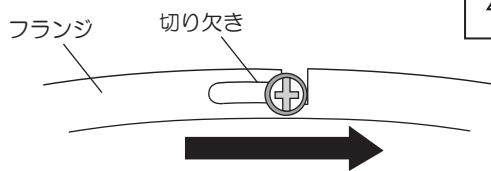
1. あらかじめ、天井プレートに付いてあるネジDの一対をはずし、もう一対のネジDをゆるめておきます。

2. 本体を支え、フックを天井プレートの○□穴または△穴に引掛けます。



3. 引掛けシーリングキャップを配線器具に接続します。

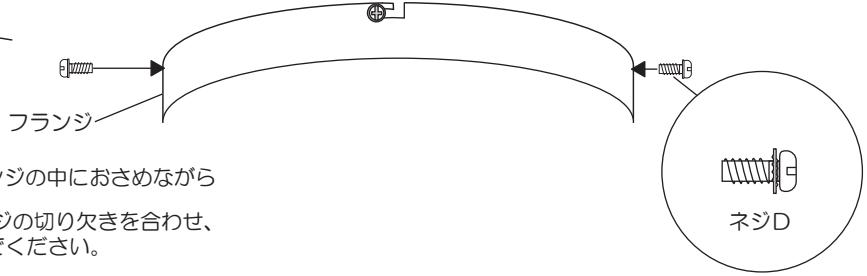
④ 本体を取付金具に取付ける



警告 落下の原因となりますので、ネジDは4本ともしっかりと締めてください。

1. 本体部分をしっかりと支えて、ワイヤーをフランジの中におさめながら

③-1でゆるめたネジD（2ヶ所）にフランジの切り欠きを合わせ、本体を右へ止まるまで回し、ネジを締め込んでください。

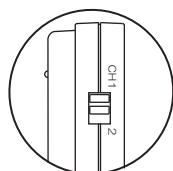


2. 次に③-1ではずしたネジDを再びはずした箇所にねじ込んでください。

⑤ CH切替スイッチ設定を確認する

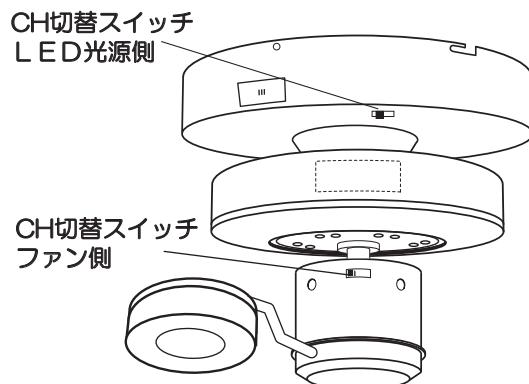
※この製品には「CH切替えスイッチ」が
LED光源側とファン側の2カ所スイッチ
があります。

●器具にある2カ所の「CH切替えスイッチ」を操作して
リモコンのCHとあわせてください。



※「CH切替えスイッチ」の場所は器具の同軸上にない場合が
ございますが製品には問題ございません。

※LED光源のリモコンが効きにくい場合は、LED光源側の
リモコン受信部に向けてリモコン送信機を操作して下さい。



注意 リモコンのCHとLED光源側のスイッチと
ファン側のスイッチが違うCHになっている
場合には、同時に操作する事が出来ません。
ご注意下さい。

カバーの取り付けかた

●器具のお手入れなどでカバーをはずされて
再度、カバーを取り付けされる時は次の手順を参照ください。

1. 灯具にあるプレートのツメに

※ カバーの取り付けは確実に行って下さい。

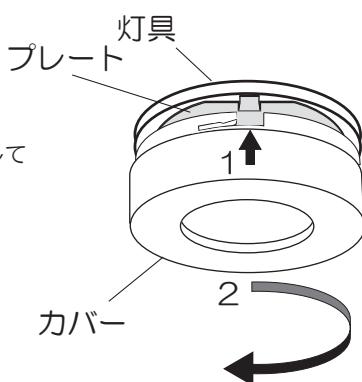
カバー切れ込み位置を合わせて

取り付けが不十分な場合、カバーが落下して
破損や怪我の原因になります。

灯具内に押し上げて下さい。

2. 灯具内にカバーが入ったら右回り

にカバーが止まるまで回して下さい。



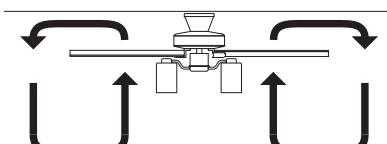
● 冷暖房時の快適・省エネ効果について

■室温を均一化 空気の循環により温度ムラを抑えることで、暖房時には天井近くにたまる暖気を、また冷房時には足元の冷気を循環させ室内を快適にします。

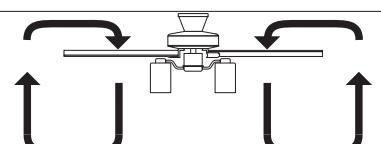
■冷暖房費を節約 冷暖房機器とシーリングファンを併用することで、効率的な冷暖房を実現。エアコンだけの場合に比べて冷暖房費を節約できます。

●シーリングファンの運転により、夏冬ともに床面と天井面の温度差が縮まります。

冬（暖房時）



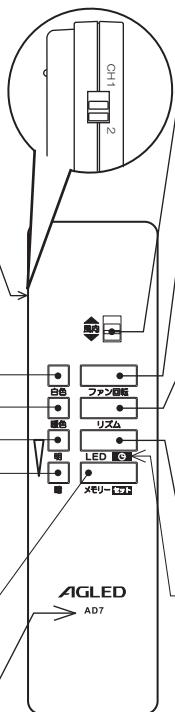
夏（冷房時）



※ファンの風向は、リモコン送信機側面の「風向切替スイッチ」で設定してください。

リモコンで操作する

チャンネル切替スイッチ	CH 1 / 2
器具のチャンネルに合わせます。 2台ご使用の場合、各器具に合わせて切り替えます。（対応機種に限る。）	
光の色を調節するボタン	白色 暖色
光色が変わります。白色ボタンで光色は昼白色側へ。暖色ボタンで光色は電球色側へ変わります。長押しすると連続的に調整できます。	
明るさを調節するボタン	明暗
明るさが変わります。 長押しすると連続的に調整できます。	
メモリー	好みの明るさ・光色（調光状態）を登録できます。
リモコン品番	AD7



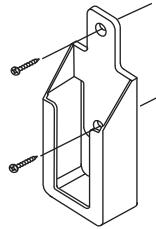
風向	風向切替スイッチ
ファンの風向きを切替えます。	↑一冬（暖房時） ↓一夏（冷房時）
！ 風向切替えは羽根が完全に止まってから行ってください。	
ファン操作ボタン	「ピ・ピ」と音がして、 低速→中速→高速→停止 の順に切り替わります。
リズム リズム回転ボタン	
ファン回転時に押すと「ピッ」と音がしてファンがリズム回転します。 ※リズム回転は約40秒間ON、約35秒間OFFを繰り返します。	
入／切	100%の明るさでゆっくり点灯、ゆっくり消灯します。
おやすみ・消灯タイマー ボタン	
入/切ボタンを長押しすると60分後に消灯するタイマーが設定されます。	



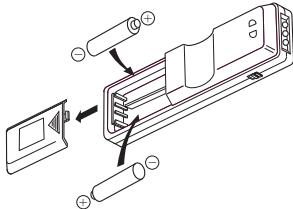
- 操作距離は天井、壁の色や材質によって変わります。
- リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
- 室温が低いとリモコンが効きにくくなることがあります。
- 短時間でも停電が起こると復旧時に点灯状態が全灯に切替わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチを切ることをお勧めします。

●ホルダーの取付け方

付属の木ネジで壁等に取り付けてください。



●電池の交換方法



△ 注意

- 新旧、異種の電池を混用しないでください。
- 電池の $\oplus \ominus$ は正しく入れてください。
- 単3形乾電池をご使用ください。
- 使用後は可燃ゴミに入れないでください。

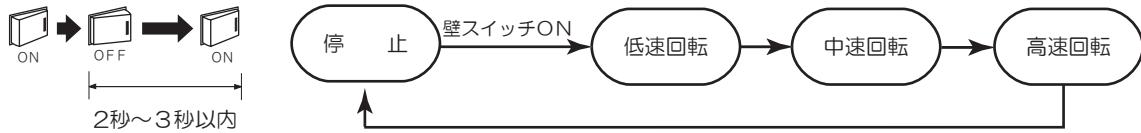
壁スイッチで操作する

- 本機は、壁スイッチだけでもファンや照明ある程度操作できます。

最初に壁スイッチをONにし、少し（3秒以上）経ってから、下記のようにファンまたは照明の操作を行ってください。
※初回電源ON時は、照明のみ点灯しファンは作動しません。

ファンを操作したい

- 壁スイッチをゆっくり（2秒～3秒以内）OFF→ONさせると「ピ・ピ」と受信音が2回鳴り、ファンの回転速度が下記の順序で切替わります。（停止時は「ピー」と1回鳴ります）



照明を操作したい

- 壁スイッチをすばやく（1秒以内）OFF→ONさせると「ピッ」と受信音が鳴り点灯状態が切替わります。



- 壁スイッチを2秒以上OFFにしておくと
次のON時には全光状態になります。

- 仕様 ※下記表示の値は標準値であり器具の個体差から多少異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

型 番	H F A 2 0 0 1 C
リモコン	赤外線式
C H 切替スイッチ	スライドスイッチ式
定格電圧 (V)	A C 1 0 0 V
周波数 (H z)	5 0 H z / 6 0 H z (周波数によって回転速度は変わります。)
消費電力 (サーチュレータのみ)	2 5 W / 2 7 W (高速回転時)
(L E D光源のみ)	5 5 W (全灯100%時)
全 幅	約 1 1 0 0 m m
全 高	約 2 7 5 m m
重 量	約 9 . 3 K g
光 源	L E D 光 源 5 灯

●お手入れとランプ交換について

※必ず電源を切ってください

- 器具の汚れは、石けん水を浸したやわらかい布をかたく絞って拭きとってください。
- シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけないでください。
- 器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にやめてください。



●保守・点検に関する事項

⚠ 注意



■お手入れの際には、必ず電源を切って下さい。電源を切らないと感電の原因になることがあります。



■お手入れの際には、電源を切ってしばらくしてから行ってください。
消灯直後にランプ及びランプ周辺に触ると、やけどの原因になることがあります。



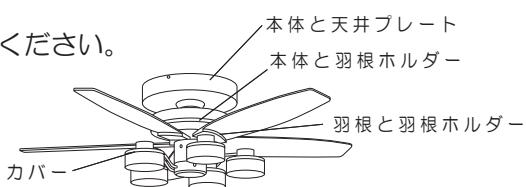
■カバーなどをはずし、再度取付ける場合は、本体表示及び取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実に取付けないと落下によるけがの原因になります。



■モーターの振動で取付けネジ類がゆるむ恐れがあります。3ヶ月に1回程度、ネジ類がゆるんでいないか点検してください。
※点検は必ず電源を切ってからおこなってください。

●点検箇所

本体と天井プレート
本体と羽根ホルダー
羽根と羽根ホルダー
カバー



■明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃点検してください。
不具合がありましたら、そのまま使用しないで、工事店、電器店に修理を依頼してください。

●故障のときの処置

■ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。

■万一、煙がでたり、変な臭いがしたり、異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。

ファン・LED光源がリモコン・壁スイッチで異常動作した時は、一度電源を5秒以上切って、再度電源を入れて操作してください。

●型番は器具の銘板に表示しております。

状 態	主 な 原 因
ファンが回転しない	●電源が切れている
LED光源が点灯しない	●電源が切れている ●LED光源の故障
異音がする	●羽根を取付けるネジがゆるんでいる
リモコンが効かない	●電池が切れている ●リモコン側と器具側の「CH切替」が合っていない ●リモコン送信機をリモコン受信部に向いていない

●お問い合わせ

■お買い上げいただきました販売店・工事店または、下記までご連絡ください。

●お客様相談センター
フリーダイヤル

0120-159087

(受付時間: AM9:00~PM5:00 / 土・日・祝定休)

アグレット株式会社

本社 〒664-0845
兵庫県伊丹市東有岡2-16